

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 2 月 3 日 (2011.2.3)

【公開番号】特開 2009-182541 (P2009-182541A)
 【公開日】平成 21 年 8 月 13 日 (2009.8.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-032
 【出願番号】特願 2008-18449 (P2008-18449)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 3/00 B

H 0 4 L 12/56 4 0 0 A

H 0 4 M 3/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 12 月 9 日 (2010.12.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音声を含むマルチメディア通信の制御に SIP (Session Initiation Protocol) を利用する IMS [IP (Internet Protocol) Multimedia Subsystem] ノード装置であって、

隣接するノード装置に対してヘルスチェックを実施するヘルスチェック手段と、前記ヘルスチェック手段によるヘルスチェックの結果に基づいて前記隣接するノード装置の障害状態を認識する認識手段とを有することを特徴とする IMS ノード装置。

【請求項 2】

前記ヘルスチェック手段は、SIP OPTIONS メソッドによるヘルスチェックを実施することを特徴とする請求項 1 記載の IMS ノード装置。

【請求項 3】

前記認識手段は、前記隣接するノード装置において、ユーザからの発信サービス要求時及びユーザへの着信要求時に発信サービスが提供できない状態であることを認識することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の IMS ノード装置。

【請求項 4】

前記認識手段で前記隣接するノード装置の障害状態を検出した時に再レジストレーションによる迂回制御を行う再レジストレーション手順実施手段を含むことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか記載の IMS ノード装置。

【請求項 5】

上記の請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の IMS ノード装置を含むことを特徴とする IMS ネットワーク。

【請求項 6】

音声を含むマルチメディア通信の制御に SIP (Session Initiation Protocol) を利用する複数の IMS [IP (Internet Protocol) Multimedia Subsystem] ノード装置各々が、

隣接するノード装置に対してヘルスチェックを実施するヘルスチェック処理と、前記へ

ルスチェック手段によるヘルスチェックの結果に基づいて前記隣接するノード装置の障害状態を認識する認識処理とを行うことを特徴とするサービス提供方法。

【請求項 7】

前記ヘルスチェック処理において、SIP OPTIONSメソッドによるヘルスチェックを実施することを特徴とする請求項 6 記載のサービス提供方法。

【請求項 8】

前記認識処理において、前記隣接するノード装置において、ユーザからの発信サービス要求時及びユーザへの着信要求時に発着信サービスが提供できない状態であることを認識することを特徴とする請求項 6 または請求項 7 記載のサービス提供方法。

【請求項 9】

前記複数のIMSノード装置が、前記認識手段で前記隣接するノード装置の障害状態を検出した時に再レジストレーションによる迂回制御を行う再レジストレーション手順実施処理を実行することを特徴とする請求項 6 から請求項 8 のいずれか記載のサービス提供方法。

【請求項 10】

前記複数のIMSノード装置が、P-CSCF (Proxy - Call Session Control Function) 及びS-CSCF (Serving - Call Session Control Function) のいずれかであり、呼制御を行う前記S-CSCF及びAS (Application Server) の障害状態を検出することを特徴とする請求項 6 から請求項 9 のいずれか記載のサービス提供方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明によるIMSノード装置は、音声を含むマルチメディア通信の制御にSIP (Session Initiation Protocol) を利用するIMS [IP (Internet Protocol) Multimedia Subsystem] ノード装置であって、

隣接するノード装置に対してヘルスチェックを実施するヘルスチェック手段と、前記ヘルスチェック手段によるヘルスチェックの結果に基づいて前記隣接するノード装置の障害状態を認識する認識手段とを備えている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明によるIMSネットワークは、上記のIMSノード装置を含むことを特徴とする